

エリア別の“はじめてのプロジェクト”

都心・地域交流拠点・住宅市街地のエリアごとに、
目指す姿とリーディングプロジェクト（先行して行う取り組み）を定めました。



街が変わり出すサル★

都心エリア

札幌の「顔」として都市機能が集積するエリア。歩かたに新しい発見がある、好奇心をかきたてるようなまちづくりを目指します。

大通公園周辺

平成元年の再整備から30年以上が経過し、利用者ニーズの変化や施設の老朽化が進む大通公園。令和7年には、将来の大通公園のあり方を「誰もが思い通りに過ごせるみどりの空間」と定めました。西4丁目区画は、周辺の再開発事業に合わせて、長年親しまれてきた噴水のリニューアルなどの再整備工事を令和11年度までに完了することを目指しています。



地域交流拠点エリア

地下鉄やJRの駅・区役所の周辺などのエリア。思わず寄り道したくなるようなまちづくりを目指します。

真駒内駅前

平岸通の迂回化によって駅・広場・商業施設などをつなぎ、歩きやすい動線作りを進めます。駅から真駒内地域内へのスムーズな流れを創り出し、街全体の回遊性の向上を目指します。



住宅市街地エリア

暮らしの基盤となるエリア。自然を身近に感じ、誰もが安全に歩けるようなまちづくりを目指します。

本郷商店街

白石区の本郷通を、市内で初めて「ほこみち（歩行者利便増進道路）」に指定。歩道にカフェのテラス席などを設置しやすくなりました。「その場にずっと居たくなる」ようなまちづくりや、にぎわいづくりにつながる取り組みです。

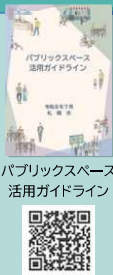


▲「ほこみち」に指定されている広島県道43号蔵島公園線（甘井市市宮島口地区）。イベント時には、歩道上に店が立ち並びます（写真提供：中電技術コンサルタント㈱）



皆さんも、まちづくりに参加しませんか？

道路や公園、ビル1階の開放空間などのパブリックスペースを皆さんが活用することも、街のにぎわいや居場所づくりにつながります。「広場でマルシェを開きたい」などのアイデアを実現するための手続きをまとめたガイドラインを7/23(木)のシンポジウムにあわせて公表予定です。ぜひご利用ください。
詳細 地域計画課 ☎211-2545



まちづくりの「今」が分かるシンポジウムを開催

政策推進担当課 阿部職員

まちづくりを担う人材や団体が連携して取り組むための仕組み「Well-Moving Network」が誕生！設立を記念し、市内のまちづくり団体が一堂に会し、未来の札幌について熱く語り合うシンポジウムを開催します。まちづくりの「今」が分かる貴重な機会です。



日時 7/23(木)13時～15時30分
場所 市民交流プラザ3階クリエイティブスタジオ（中央区北1西1）
申込 7/17(金)までにホームページから
詳細 政策推進担当課 ☎211-2139



歩きたくなる、心も一緒に動く街へ

Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン

季節を問わず、誰もが安全で円滑に移動できること、
車中心の空間を歩行者中心の空間に変えて、にぎわいや居場所を生み出すことを目的に、
20年後の札幌の街を見据えた計画「Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン」を策定しました。計画の概要や取り組みを紹介します。
詳細 政策推進担当課 ☎211-2139



Well-Moving City シンボルキャラクター「アルカサル」

「5つの方針」を基に、動き出します



「歩くことが楽しく、健康に暮らせる」「居心地が良く、自分らしくいられる居場所がある」「誰もが安心して、円滑に移動できる」「札幌らしく、四季を通じて歩かざる」「環境に優しく、みどりとともに暮らせる」の5つの方針を基に、行政・企業・大学・市民の皆さんが一体となり、新たな取り組みを行っていきます。

「Well-Moving City」とは？

「Well」は身体・精神・社会的に良い状態であるWell-beingを指し、「Moving」は歩きやすさや心の動き・感動を表現しています。「自然と歩きたくなる街の中で、新たな出会いや発見が生まれ、歩くことが喜びになるような街にしたい」という思いが込められた「札幌独自の」言葉です。

実際の取り組みをご紹介します

既に街にある「Well-Moving」な取り組み



壁画アートで「通りを楽しめる空間」に

中央区北2西4と北5西1の再開発工事用の仮囲いに描かれた巨大壁画。都心部では大規模開発によるリニューアルが進む中、工事期間中の仮囲いによる閉塞的な雰囲気や、アートで楽しめる空間に変える取り組みが官民連携で進められています。



「バリアフリー情報」が入った地図を作成

市とANAグループが連携し、街歩きイベントなどで車いすを利用する方などと一緒にバリアフリー情報を集め、それを地図上で見られる「ユニバーサル地図/ナビ」を作成。誰もが安心して円滑に移動できる街を目指した取り組みです。



道路を「にぎわいの空間」に

北3条広場（アカブラ）は、かつて道路でしたが、隣接地の再開発事業に伴う整備（公共貢献）の一環として平成26年に広場になりました。平日は働く人たちの憩いの場となっているほか、休日はイベントが開催されるなど、多くのにぎわいが生まれています。



整備前の道路空間



整備後の広場空間

この取り組みも「Well-Moving」だったんだサルね★

